

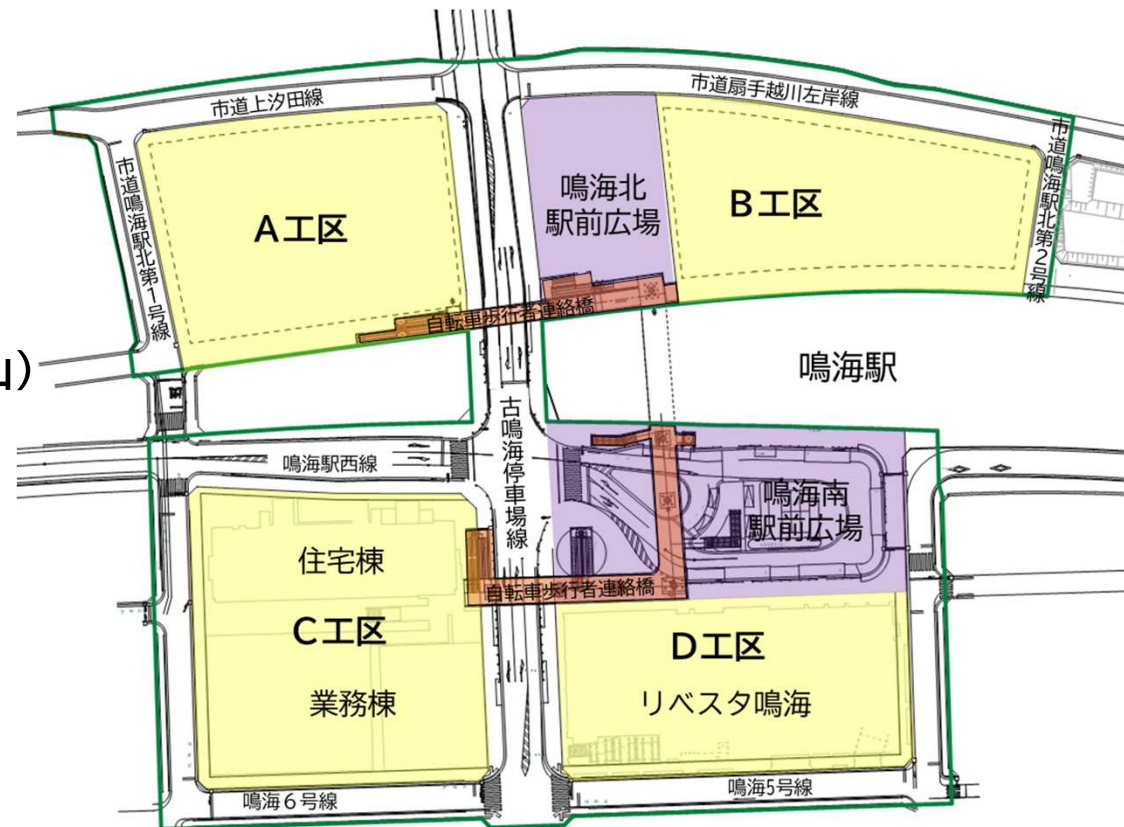
鳴海駅前第2種市街地再開発事業及び みどり市民病院に係る説明会

名古屋市住宅都市局緑都市整備事務所
公立大学法人名古屋市立大学（みどり市民病院）

令和8年6月28日、30日

経緯

平成 5年 3月29日	都市計画決定
平成10年 8月 7日	都市計画変更
11月26日	事業計画決定
平成18年 2月28日	D工区「リバスタ鳴海」工事完了
11月25日	名鉄名古屋本線(天白川～左京山) 連続立体交差 高架切替
平成21年 6月15日	鳴海南駅前広場完成
平成25年10月11日	C工区「業務棟」工事完了
平成27年 2月 9日	C工区「住宅棟」工事完了
令和 5年12月 5日	A・B工区「みどり市民病院」 整備に向けて検討する方針決定



新みどり市民病院の概要

病床数	250床（現病院：205床）
診療科	感染症・総合内科、消化器内科、呼吸器・アレルギー内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、血液・腫瘍内科、脳神経内科、腎臓内科、消化器・一般外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科

令和8年4月現在

特長

- 急性期医療から回復期医療までの「治し支える医療」
- 高齢者急性期医療への対応
- 災害医療体制の強化
- 新興感染症への対応力強化
- 予防医療の推進

整備計画

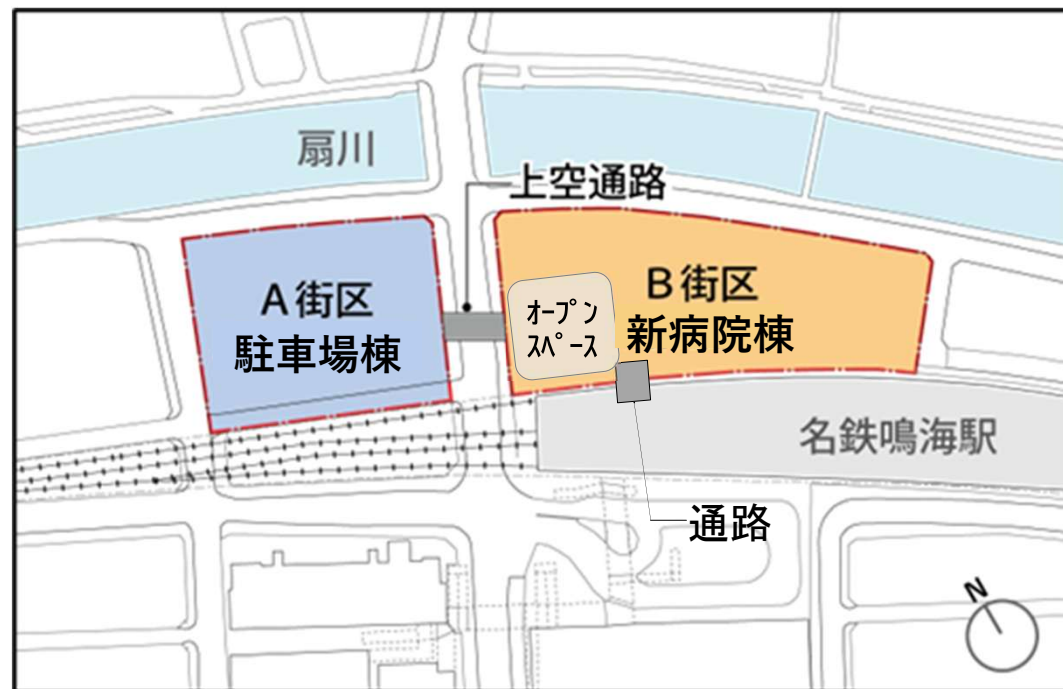
駐車場棟と新病院棟を上空通路で接続し、病院と鳴海駅を結ぶことで、来院者の利便性の向上を図るとともに、救急の初期対応をはじめ、予防医療など地域住民の健康づくりの支援に取り組んでいきます。

〈建築概要〉

区分		計画概要
敷地面積	A街区	約 4,000㎡
	B街区	約 5,400㎡
延床面積	A街区	約 6,000㎡
	B街区	約27,000㎡
その他		上空通路による接続

※整備計画は検討中のものであり、見直す場合があります。

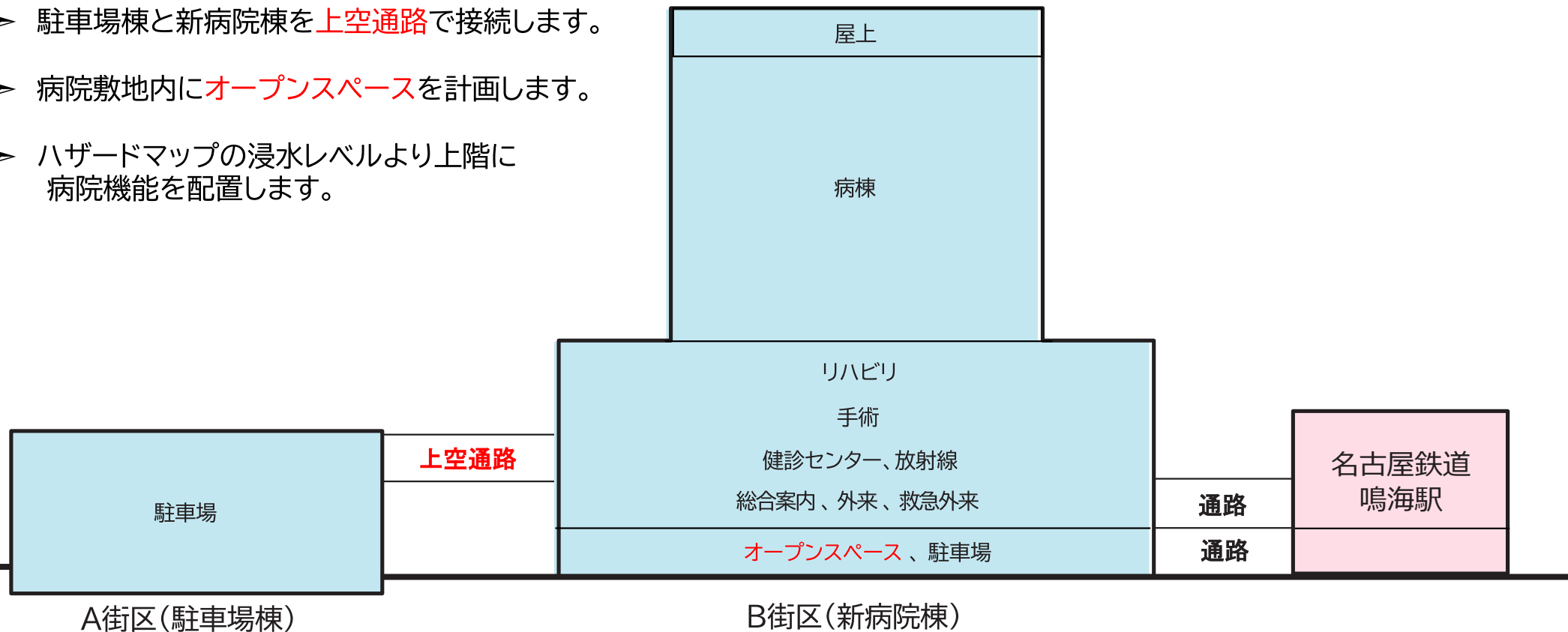
〈敷地図〉



建物イメージ

※ 建物配置・形状は関係機関と相談中。

- 駐車場棟と新病院棟を上空通路で接続します。
- 病院敷地内にオープンスペースを計画します。
- ハザードマップの浸水レベルより上階に病院機能を配置します。



災害対策

災害時における救急車の受入れは、市大病院(災害拠点病院)や、その他の救急車受入れが可能な近隣病院との連携も含め患者様の対応を行います。

また、大雨の際においても、しっかりと病院機能を維持できる施設を整備します。

〈被害想定と対策案〉

「あらゆる可能性を考慮した最大クラス」の地震想定と想定しうる最大規模の降雨に対する対策案

区 分		被害想定	対策案
地震	震度	6 弱～ 6 強	・ 地震対策として免震装置の導入
水害	内水氾濫	1 ～ 3 m未満	・ 病院機能・設備を上階へ配置 ・ 被害想定階の施設配置を工夫
	洪水	1 ～ 3 m未満	

渋滞対策

※警察と現在相談中

駐車場台数は現病院の約2倍となる、約210台を確保し、周辺道路への渋滞を引き起こさない計画とします。

- 古鳴海停車場線からの乗入は救急車のみの計画とします。
- メインの駐車場はA街区とします。
- 駅前交差点に来院者車両が集中しないよう対策を検討します。

